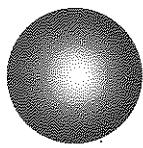


—21世紀への共創—

NAGASAKI YOUNG



GENERATION
ASSOCIATION



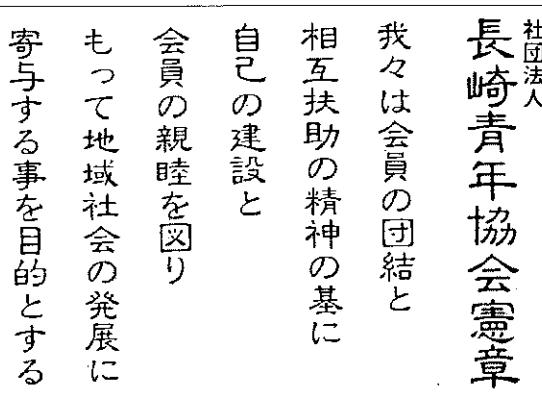
昭和42年度
&
昭和46年度
誕生者の
皆様です。

Challenger
since 1985

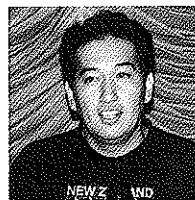
社団法人 長崎青年協会

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
会長 伊藤克樹 編集●広報委員長 吉田浩文

9
1999



会長あいさつ



伊藤会長

先週行われました青少年育成事業「出島だ、荷揚げだ、日蘭だ！」におきましては、地域社会委員会をはじめ会員の皆さん大変お疲れ様でした。各報道関係の方々も「出島への荷揚げ」というテーマにたいへん興味深く感じられたようで、熱心な取材を受けました。青少年育成事業は、これから時代を担う子どもたちに、いろんな体験や交流をとおして学んでいただく大切な事業です。これからも、青年協会らしい趣向を凝らしながらも事業を継承していっていただきたいと思います。

さて、本日の全体研修は「青年のための老後講座」です。まだ若いと思っている皆さんも、確実に毎日歳をとっていますので他人事ではありません。

今回の研修では、話を聞いて学び、車いす等を体験し、施設を実際に見学するという盛りだくさんの内容になっています。これをきっかけに高齢化社会についてもう少し考えてみてはいかがでしょうか。

また、毎年恒例の懇親会では、青年協会の今後の夢を大いに語りあっていただき、全体研修をとおして何かをつかんでいただきたいと思います。

平和の泉・キャンドルライトアップ

去る、8月8日、平和公園において「平和の泉・キャンドルライトアップ」が行われた。これは、8・8・8平和の灯実行委員会に長崎青年協会も参加しており、毎年行われている。集合時間頃から小雨が降りだし、開催が危ぶまれたが、一部プログラムを変更して実施された。伊藤会長をはじめ協会役員の



皆さんもずぶ濡れになりながら数百のキャンドルを通路や階段に並べ、灯をつけたが、雨や風で灯が消えるので何度も何度も繰り返し作業をした。そのうち多くの人たちが集まり、平和の泉の前での点灯式やコーラス、原爆慰靈者の方々の追悼イベントが行われた。そして、最後は来場者へキャンドルのプレゼント

や片づけと休む暇もない程の忙しさだった。会員の多くは、早朝野球の疲れもあったとは思いますが、雨の中大変ご苦労さまでした。

～張中国総領事と懇親会～

8月18日に長崎の青年4団体と張 煥忠総領事との懇親会が、橋口町の中国総領事館で行われた。

日本と中国の長い歴史の中においても深い関わりがある長崎で執務に励まれておられる張総領事が、長崎の若い世代との友好を深めることにより、21世紀に向け新たな日中友好の架け橋となるように開催された。

青年協会からは、役員を中心に10名の出席者があり、張総領事と協会活動や中国の青年団体との交流という夢のある歓談を行い、また他団体との親交も深め有意義な時間を過ごすことができた。



平成11年度 全体研修開催

「青年のための老後講座～21世紀は私達の老後の時代」

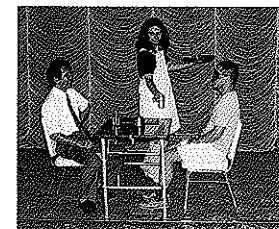
全体研修の1日目は、8月28日、午後6時よりセンチュリオンホテルに於いて3部構成で行われた。

第1部は、平成12年4月よりスタートする介護保険制度を控え、協会員でもある長崎市介護保険課の馬見塚純治君を講師に迎え、「介護保険とは?」というテーマでお話を伺った。介護保険制度の内容、サービス、利用するための手続、保険料の納付方法等について詳しく説明がなされた。40才から介護保険の対象になるそうだが、できれば1才でも長く介護を必要としなくていいような健康な体と頭を持ちたいと感じた。



第2部は、翌29日に訪問させていただく、社会福祉法人「楽老会」施設長 出口 洋様より「老後介護の実情」というテーマでお話を聞きました。介護保険制度実施に伴う老人福祉施設の方や厚生省の指導により寝たきり老人をなくすための施設の取り組み方等を話され、特に介護保険が実施されると利用者が直接介護保険施設に申し込めるということで、利用者本人はもとより利用者のご家族からも安心してお願いできるような施設づくりを目指しているとのことだった。

第3部は、「体験学習」というテーマで、長崎県ボランティア振興センター所長 岩永秀徳様と長崎県立点字図書館の辻郷美太郎様に車いすと目が不自由



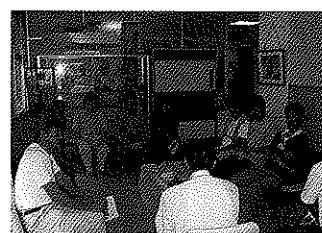
な方の誘導の行い方について体験学習をした。段差のある所や狭い通路等で実際に車いすに乗ったり、車いすを押してみると。又、1人がアイマスクを付け、ホテルの階段を利用しての体験や喫茶店へ行ったと仮定してのロールプレイ等、どの体験とも二人のコミュニケーションの大切さを感じた。

研修終了後、ミニ例会を行い、懇親会場へと移動し、深夜まで大いに盛り上がり、1日目の研修を終了した。

次の日は、女の都にある老人ホームへの訪問だ。

18名の参加者を9名づつの2班に分け、特別養護老人ホーム「女の都山荘」と軽費老人ホーム「老友荘」を訪問した。

まず、ホームの方に老人ホームの種類や現在の状況等の説明を受け、実際に中を見学した。「老友荘」は、自立をされている方々が生活をされていて、ビーズを使っての手芸をいっしょにしながら楽しく歓談することができた。ホームの中には、クラブ活動や、一年を通してのいろいろな行事が行われ、四季を感じながら楽しく生活ができるようになっていた。「女の都荘」では、介護が必要な方々だったので、見学だけをさせていただいた。しかし、廊下には、入所者の皆様が作成された切り絵や習字が展示されお元気な一面も垣間見ることができた。お昼には、ホームで出されているメニューといっしょの食事をいただき、解散となった。



二つの施設を実際に見て、また、実状をお聞きしながら自分たちの身に将来必ずおこることを考えさせられ、あまり見ることがない老人ホームを見学でき大変いい経験になったと思う。



施設の方には、お忙しい中お時間をとつていただき有り難うございました。

青少年育成事業第1弾

'99サマーキャンプ「出島だ。荷揚げだ。日蘭だーっ。」開催!!

夏休みも終盤にかかるつた8月21日～22日に日蘭交流400周年記念事業にふさわしく「出島だ。荷揚げだ。日蘭だーっ。」が、小学校3年生から6年生までの約50名が参加して行われた。

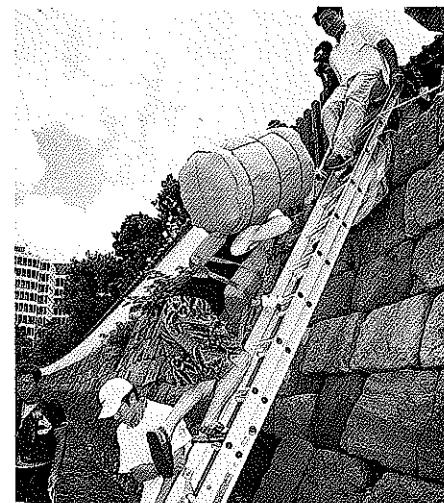
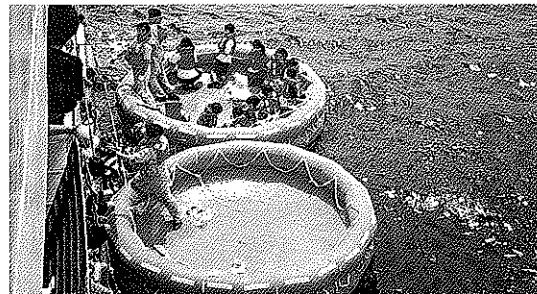
まず、21日の午前11時30分より開会式が行われ、長崎港内クルーズをおこなう「ぐらばあ」へと乗り込んだ。

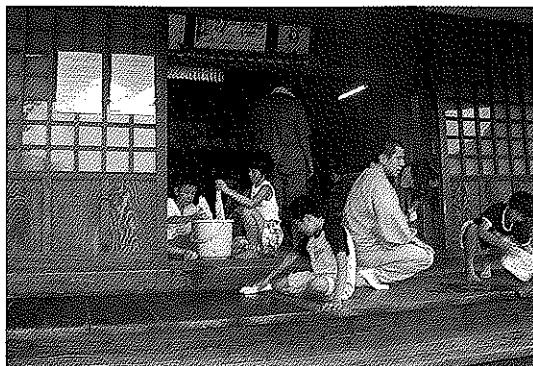
船内では、各班ごとに自己紹介をおこない、各自持参のお弁当タイムとなった。長崎の景色を海上から眺めたり、すれ違う船に手を振りながら、船は進んで行った。途中、普段は絶対に入ることのできない操舵室（車でいう運転席）を特別に見学することになり、船長さんからいろいろな説明を受けることができた。そして、船は、大波止に戻ってくると、いよいよ荷揚げ体験の始まりだ。今回は、船舶の救命浮器の投下、乗り込みと海事振興の企画も含まれており、これもまた、滅多にできない体験となった。

まず、船の3階より救命浮器のカプセルを海上に落下させると、カプセルが衝撃でひらき、中からオレンジ色の救命浮器が膨らんで大きくなつた。そして、5年生6年生の希望者が、一人づつ救命浮器に乗り移り、水上バイクで曳航されながら、大波止から出島までを橋の下を通り抜け無事に到着。出島では、水門からはしごで上陸を行い、積み荷を降ろして荷揚げの完了となつた。復元作業が進む出島では、出島シアターで映画を見ながら自分たちが体験した出島の荷揚げを再度確認したり、資料館の中で、熱心にメモをとったりして学習を行つた。

また、クイズ形式での説明や当時の出島で実際に行われていた積み荷の測量を、自分たちの荷物を使い実測の再現も行われた。

休む間もなく一行は、宿泊先となる寺町『延命寺』へと出発。途中、浜の町アーケードや中通り商店街





をおしゃべりしながら通り、気がつけばみんなお友達。そして、到着。ほとんどの子供達が、お寺の本堂に入るのは初めて。見たこともないような大きな大きなお座敷に座り住職さんのお話。お寺とはどういうところか、正しい合掌の仕方、昔、明治の初めまで、お寺も『寺小屋』として学校のかわりをしていたことを勉強した。そして、お腹もペコペコディナータイム。それぞれの器にビーフカレーとソーセージがつがれ子供達も満面の笑顔でおかわりをする子もたくさんいた。

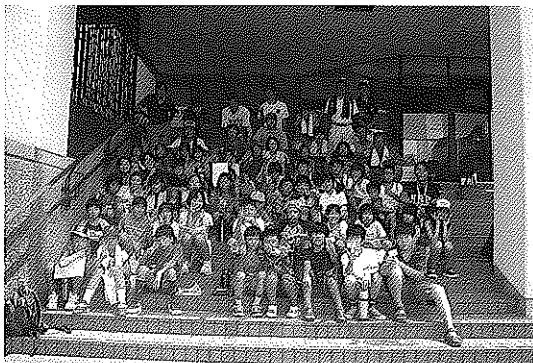
外も薄暗くなり、本堂に戻って、『身の毛もよだつ怪談話』のはずが、冗談交じりの話が多くいまいち不評。でも子供達自らの怪談話の時には、身をすくめる子も。そうこうしているうちに外も真っ暗に!!

いよいよ『肝試しお墓巡り』の始まり。怪談話での失敗を取り戻そうと会員も力が入る。各班を2つに分け、1組4、5人で出発。さすがにおませな子供達もこの時ばかりは、班長にくつついで離れない。所々で会員が知恵をこらしたお化け役。あちこちから「キャーもう帰りた~い!!」の悲鳴が! 肝試しは大成功!! でも一番ビビっていたのは班長かも?! 涼しくなったところで、花火大会。みんな好きな花火を持って、思い切り夜に咲く花を楽しんだ。アツという間に過ぎた一日目。子供達にとっては、ちょっと早いおやすみの時間。9時には電気が消され就寝…。と行きたいところだが、子供が50人も集まれば寝るわけない!! 結局全員寝付いたのは、12時過ぎ…だった。

翌朝「カーン。カーン。カーン。」とけたたましい鐘の音とともに朝5時起床。みんな以外とパッ目覚める。子供に起こされる会員もチラホラ。お寺のお勤め、お掃除、ラジオ体操。朝から重労働をした子供達のお腹もペコペコ。朝食もペロリといたらいらげてしまった。そして、馬見塚先生の寺子屋授業開始。昨日の出島の復習をした。少し休憩し、風頭公園を目指して出発。子供達は、元気に足取りも軽いが、運動不足の会員はヘトヘト。山頂でもスケッチや思い思いの遊び方を発見して遊び、おいしいパンの昼食の後、下山。長く短い2日間も終わり、市民会館にて閉会式。広瀬副会長の「ゲーム機を持ち込まなくともおののがゲーム機のことは忘れて、思い思いの遊びを考え、発見し、遊んだことは大きな糧となつたことでしょう」と感想を言い、「ん~なるほど。大波止で会ったあの顔が一回り大人になった気がする」と感じた。

最後に、子供達を寝かしつけていたときこんな会話が聞こえてきた。「ねえ、大人になつたら何になる?」「私絶対、看護婦さん」「私は学校の先生」「僕はJリーグの選手」。20数年前、私も本気で目指していた夢。あの頃の想いが再び甦る。子供達と一緒にになってワクワク、ドキドキした2日間。

「ありがとう、みんな! ありがとう、サマーキャンプ!! 忘れてはいけないあの頃の気持ちを!!」



“話題にダブルクリックVOL.5”(ニュースな言葉)

『介護保険』



■介護保険ってどんな制度?

いよいよ平成12年4月スタートとなつた「介護保険制度」全体研修でも勉強されたことと思いますが、もう一度この言葉にダブルクリックしてみました。実際に対象となる被保険者は40才からですでに、我々協会員にはすぐにかかわってくる人とそうでない人がいますが、協会を卒業するとあなたもすぐ被保険者です。よく理解しておきましょう。

誰もが介護が必要になっても安心して、自分らしく暮らせる老後を望んでいます。本格的な高齢社会を迎えていく我が国では、介護が必要な高齢者が急速に増え、介護する人の高齢化も進んできます。また働きに出る女性も増えるなど、家族だけで介護することは難しくなっています。そこで、こうした介護を社会全体で支える「介護保険制度」が新たに生まれました。

■どんなサービスが受けられるの?

介護保険では、介護が必要になっても、できる限り住み慣れた自宅で、自立した生活ができるよう、必要な福祉サービス、医療サービスを総合的に受けられます。

また、自宅での生活が難しくなれば、本人の希望により、施設サービスも利用できます。

■サービスの利用は誰に相談するの?

要介護認定を受けた方は、居宅介護支援事業者（ケアプラン作成事業者）を選んで、どのようなサービスが必要か相談し、一緒に介護サービス計画をつくってもらえます。

利用者は、在宅でサービスを受ける場合、要介護度に応じて使える金額の範囲内で介護支援専門員の助言を受けて心身の状態、家庭の状況等に適したサービスを選ぶことができます。なお、介護サービスの計画作成には、利用者負担はありません。

■介護保険の財政

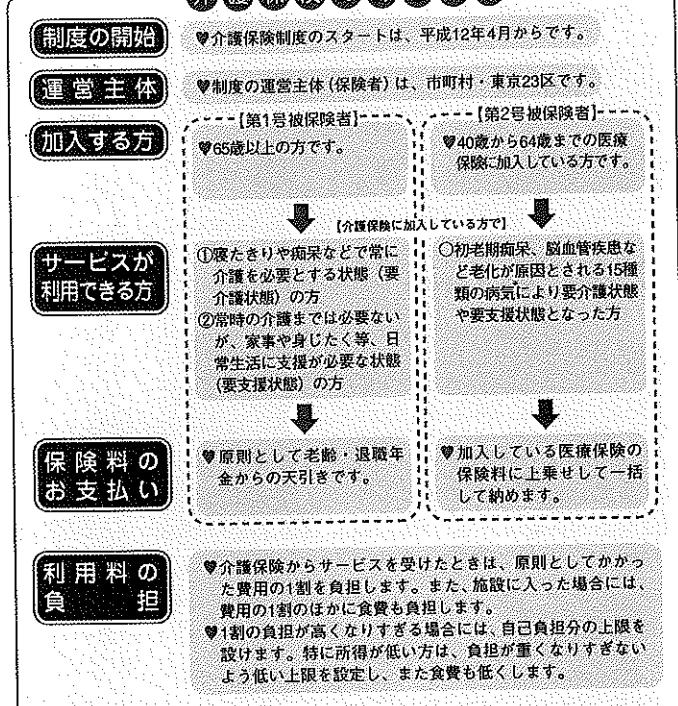
介護保険の費用は、利用者の負担を除いた分を、半分税金で負担し、残り半分を保険料で負担します。

高齢の方々には、住んでいる市町村の介護サービスに必要な費用の約6分の1(17%)をそれぞれの所得に応じて保険料として分担していただくことになります。

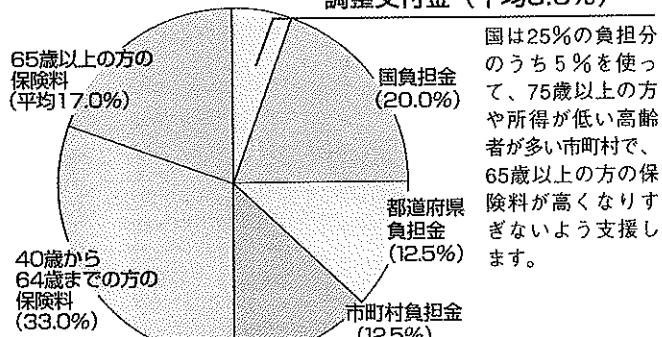
このように、「介護保険制度」は青年協会憲章と同じく「相互扶助の精神の基」に成り立っているものなのです。

資料提供：厚生省介護保険制度施行準備室（すぐわかる介護保険）より

介護保険のあらまし



調整交付金（平均5.0%）



お父さんの通知表

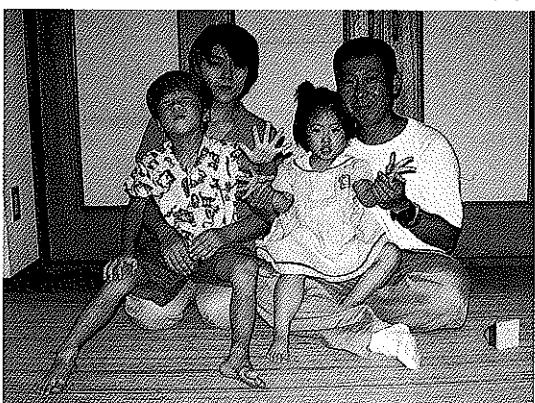
第6回目は、交流委員会・湯藤正典君の長男正敏（まさとし）くん・5歳から見たお父さんを10の質問で採点しました。

「パパについて5点評価で正直に答えてね!!」

	質問	採点	理由
Q 1	一緒に遊んでくれますか？	5	釣りに連れていってくれる
Q 2	家族のみんなにやさしいですか？	0	酔っぱらって寝ている時に起こすと怒られる
Q 3	勉強を教えてくれますか？	5	たし算とか虫の名前とか教えてくれる
Q 4	カッコイイですか？	4	顔がカッコイイ!!
Q 5	よく話をしますか？	4	釣りの話をする
Q 6	お酒、たばこを飲みすぎませんか？	1	タバコを換気扇の下でよく吸っている
Q 7	家の手伝いをしますか？	2	何にもしない。テレビばかり見ている
Q 8	相談にのってくれますか？	4	虫のこととか魚のこととかなんでもよく相談する
Q 9	明るく楽しいですか？	4	おもしろい
Q 10	ママと仲がいいですか？	3	???
	総得点	32	
	平均点	3.2	もう少しがんばりましょう

湯藤ファミリーは、奥様 純子さん、長男 正敏くん、長女 千晴（ちはる）ちゃん・3歳の4人家族です。正敏くんは、4月からラグビースクールに通つており、湯藤ボタン店にお邪魔した時は、店の中をおもちゃの車に乗つて走り回つていたとても元気なお子さまです。質問には、正敏くんに答えてもらつたところ、Q 2 の0点が大きく影響し平均3.2点と「ちょっと低いかな～」の点数になつてしましました。

しかし、湯藤君は、よく釣りにいつしょに行つてゐる様で、正敏くんも大きくなつたら「釣り師」になりたいといふくらい釣りが大好きだそうです。子供に対しては「勉強ばかりでギスギスしないで、元気でのびのび育つてほしい。僕が横着でないので、子供には、少し横着になつてももらいたい」とのことです。また、千晴ちゃんには、質問できませんでしたが、「お父さんのこと好きですか？」と聞くと「大好き!!」と答えてくれ、とても素晴らしいお父さんという印象でした。



左より 長男 正敏くん
奥様 純子さん
長女 千晴ちゃん
湯藤 正典君

お誕生おめでとうございます



森田克司君

名前: 真世くん

誕生日: 平成11年7月15日

父より: 好きなことを好きなだけできる人に
なってほしい

田川清浩君

こうたろう

名前: 晃太郎くん

誕生日: 平成11年7月20日

父より: 元気でそしていつも明るく

委員会出席賞獲得までの道

8月例会

	企画推進室	総務	例会	広報	交流	研修	会員開発	地域事業	特別事業	地域社会	企画	役員
例会出席者数	1	2	1	2	2	7	2	3	5	1	5	10
委員会総数	4	7	8	8	7	7	6	9	7	8	7	12
出席率(%)	25%	29%	13%	25%	29%	100%	33%	33%	71%	13%	71%	83%

◀ 同好会だより ▶

◎ペーロン同好会報告 『伊王島ペーロン大会 堂々の2位!!』

みなとまつりペーロン大会において、素晴らしいタイムを敗者復活戦ながら出した青年協会の精鋭達が、調子にのってか?はたまた、みなとまつりのリベンジか?8月13日伊王島にて行われたペーロン大会に参加した。しかし!!お盆前の平日とあって集まった精鋭達はわずか10数名、さらに伊王島についてびっくり、な・な・なんと!!青年協会の名前がレース表の中にはないのではないか。つまり、手違いか?レースにエントリーされていなかったのである。が、このままでは帰れない。急きょ「体験ペーロン」に登場することに決定!?しかし精鋭達は気合いが違っていた。「体験」といえども船に乗るのには変わらない。一緒に素人さんも乗せて「ヨーサー・ヨイヤーサー」の掛け声と共に、舵を取る係りの方の忠告も聞かず本番のレースと同じ距離を漕ぎきってしまった。精鋭達は少し不満。そこにニュースが、この精鋭達のこぎっぷりを見ていた大会会長が「レースに出して見ろ!」この一声で最終レースに登場することが決定。伊王島の方々の協力もあり人数も揃い、いざ出陣!!精鋭達はやった!堂々の2位でゴール。会場から拍手も…精鋭達の夏は来年への期待を込めて終わった。この時、浅田君・松尾幸洋君・麓君の3名でペーロン同好会が発足。青年協会ペーロン史の新しい幕開けとなつた。最後に伊王島ペーロン大会関係者の方々ありがとうございました。



表紙のご紹介 (下段は勤務先)

河井 耕治君 弁護士河井耕治法律事務所 S.42.4.8(B)	高見誠一郎君 (株)高政建設 S.42.5.13(B)	平山 雅則君 昭英印刷(有) S.42.8.19(B)
宮崎 健太君 (有)大井酒店 S.42.10.13(O)	荒木 裕紀君 チエレステ S.42.12.18(A)	三瀬 健司君 (有)三瀬商店 S.43.2.9(AB)
酒井 真君 下釜事務所 S.46.5.1(A)	泉 栄吉君 長崎電建工業(株) S.47.2.3(A)	昭和42年度 & 昭和46年度の皆さん

編・集・後・記

いろいろな予言が渦巻いた1999年8の月も何事もなく過ぎ去ることができた。トルコでは、大地震が起きたなどの災害があったが、わが国では大災害やテロも飛んでくることもなく、平和な時が流れていったと思う。無駄な心配をせず、楽しく2000年を迎えるといふ。